



# 湯梨浜町人口ビジョン

## ●人口の現状

本町の人口は、2005（平成17）年国勢調査の17,525人をピークに減少し、2013（平成25）年の県推計では16,795人となっています。年齢別で見ると、65歳以上の割合が28%を超えており、少子高齢化が進んでいます。

自然増減<sup>※1</sup>は、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いています。社会増減<sup>※2</sup>は、近年では転入・転出ともほぼ同数であり、変化があまり見られません。

一方、合計特殊出生率<sup>※3</sup>は、2004（平成16）年の1.47に対して2013（平成25）年は2.06となっており、増加傾向にあります。

※1 自然増減：一定期間における出生・死亡に伴う人口の増減のこと。

※2 社会増減：一定期間における転入・転出に伴う人口の増減のこと。

※3 合計特殊出生率：1人の女性が生涯に産む子どもの数を表す数値で、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。

## ●このままだと…

町の推計では、2040（平成52）年に13,605人、2060（平成72）年には11,013人まで人口が減少します。

また、65歳以上の割合は36.5%まで上昇します。これは、高齢者1人を現役世代1.39人で支える計算になります。

## ●目指す将来の方向性

人口減少を緩やかにし、年齢構成のバランスを維持することで、持続可能な地域の実現を図るため、2060（平成72）年の人口12,000人を確保します。

そのための政策の方向性として、以下の2つを掲げます。

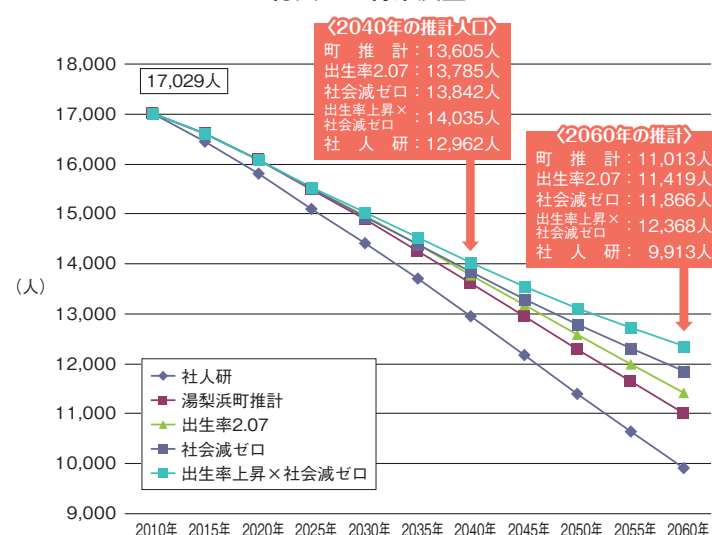
### 自然減対策

今以上に子育て環境を良くすることで、出生率を高め、自然減を抑制します。

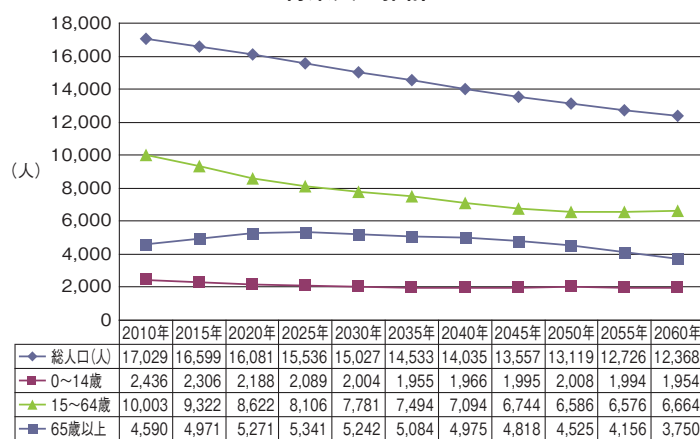
### 社会減対策

産業振興や働きやすい雇用形態の条件整備を推進するとともに、暮らしやすさや地域の魅力アップを図ることで、移住や定住を促進させ、社会増を図ります。

総人口の将来展望



将来人口推計



● 高齢者1人を現役世代何人で支えるか

|  | 2010年 | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 | 2050年 | 2055年 | 2060年 |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|  | 2.18  | 1.88  | 1.64  | 1.52  | 1.48  | 1.47  | 1.43  | 1.40  | 1.46  | 1.58  | 1.78  |



湯梨浜町

# まち・ひと・しごと 創生総合戦略

概要版

～湯梨浜創生への指針～



## 趣旨・社会背景

- 本町の人口は、2005（平成17）年をピークに減少傾向にあります。人口減少がこのまま続けば、将来的には経済規模や生活サービスの更なる縮小・低下を招きかねません。早急に人口減少に歯止めをかけるとともに、当面避けられない人口減少に的確に対応していく必要があります。
- 「湯梨浜町人口ビジョン」に掲げた、本町の未来に向けた3つの基本目標「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」を実現するためのまち・ひと・しごとに関する総合的な施策を展開し、喫緊の課題である人口減少を克服し、将来の持続的発展可能なまちづくりを進めようとするものです。

## 計画期間・位置づけ等

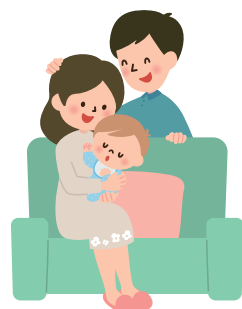
- 計画期間 平成27～31年度までの5年間
- 位置づけ 町民のみなさんと意識を共有化し、本町の目指す地方創生を実現するため、「第3次湯梨浜町総合計画」との整合性も図ります。
- 目標管理 PDCAサイクルに基づき、数値目標等を基に成果を検証し、必要な見直しを行います。

## 基本的方針

- 町内に人を呼び込み、人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかけます。
- 持続可能な地域づくりを進め、当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応します。

# 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 人口減少を克服するための3つの基本目標



### I 活力ある元気なまち

(地域経済の持続的発展のための「しごと」を創る)

活力ある元気なまちづくりを行うため、地域資源を活かした個性豊かな産業の振興に努めながら、既存産業の充実のもとより、様々な産業の連携による新たな活力を創出します。



### II 安心して暮らせるまち

(少子化対策や共に支え合うひとづくりの推進により「ひと」を増やす)

安心して子育てができる環境を整備するとともに、出会いと、子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が笑顔にあふれ、いつまでも健康で生きがいの持てる安心、安全のまちづくりを推進します。

### III 町民みんなが創るまち

(地域の持続的発展のための活力維持により「まち」を創る)

豊かな自然環境を活かしながら本町の魅力を発信し、都市部からのひとの流れをつくるとともに、町民一人ひとりが積極的にまちづくりに参画し、町民と行政が連携・協働してまちづくりを推進します。

## 基本目標 I 活力ある元気なまち

(地域経済の持続的発展のための「しごと」を創る)

### 平成31年度の数値目標

- 温泉宿泊客数 20万人(年間)
- 新規就業者数(常用雇用) 200人(年間)

※〈 〉内は例示

#### 農林水産業の振興

- 二十世紀梨などの特産物を活かした「果物大国」の推進(東郷梨地域連携栽培プロジェクトなど)
- 新規就農支援、担い手の確保・育成、集落営農化の促進(農業生産現場強化事業など)
- 農林水産物や食など、地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓(農産物販路拡大・ブランド化など)
- 遊休農地および耕作放棄地の解消(砂丘農業復活プロジェクトなど)
- 東郷池や日本海の豊富な資源を活かした水産業の振興(種苗放流支援、港の資源活用など)

#### 観光産業の振興

- グラウンド・ゴルフやウォーキングによる、国内および国外からの観光客誘致の推進(グラウンド・ゴルフの国際化および潮風の丘聖地化など)
- はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進)(温泉水を活用したスッポン養殖支援など)
- 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域活性化の推進(東郷湖周の魅力創造など)
- Wi-Fi 環境の整備や誘客キャンペーンの推進による、多言語への対応と利便性の向上(観光関連施設情報環境整備事業など)
- 戦略的な情報発信と、着地型・体験型観光メニューの造成(観光地域づくりの核となる「DMO」の推進など)

#### 商工業の振興

- 事業所の新設、新分野への進出、新製品開発、6次産業化などに対する支援(ゆりはまじげ産業支援事業など)
- 地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進(ふるさと名物応援事業など)
- ICT(情報通信技術)を活用したコンテンツ系企業などをはじめとした、企業誘致の推進(里山オフィス開設支援など)

#### 雇用の推進

- 地場産業の振興、起業の支援、企業誘致、雇用奨励制度などによる雇用の創出(雇用促進奨励金事業など)
- 就職情報の提供による、企業と学生のマッチング促進(県・近隣市町と連携した就職関連情報提供など)
- 高齢者の経験や知識を活用した就労の支援(「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRCの推進)



## 基本目標 II 安心して暮らせるまち

(少子化対策や共に支え合うひとづくりの推進により「ひと」を増やす)

### 平成31年度の数値目標

- 合計特殊出生率 1.95
- 出生数 160人(年間)

※〈 〉内は例示

#### 子育て環境の推進

- 子育て世代の経済的負担の軽減などを図ることによる、安心して子育てができる環境整備の推進(家庭子育て支援事業など)
- 妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談・支援を行う窓口のワンストップ化(子育て世代包括支援センターの整備)
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室、開かれた学校づくりなどの推進による、子どもたちが地域で安心して過ごせる居場所の充実(放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実など)
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくり(学校支援ボランティア事業の推進など)
- 地域の中で育つことで、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていこうとする心を育む教育の推進(ふるさと教育の推進など)
- 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくり(ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催など)

#### 地域福祉の推進

- 地域や個人に密着した健康づくり活動の推進(子どもからお年寄りまで生涯にわたる歯・口の健康づくり推進など)
- 地域の自主的な介護予防や健康づくり活動を指導・支援するボランティアの育成(介護予防・健康づくりリーダー養成など)
- 保健師などの定期的な訪問による相談体制の充実(健康相談・健康教室等の実施など)
- 町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進(「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRCの推進など)

#### 結婚の出会いの場づくりと情報提供

- 男女の出会いの機会の創出と出会いの場に関する情報提供を積極的に行い、少子化対策と定住を促進(縁結び支援員事業)
- 男女の出会いや交流の機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進(婚活イベント事業)



## 基本目標 III 町民みんなが創るまち

(地域の持続的発展のための活力維持により「まち」を創る)

### 平成31年度の数値目標

- 県外からのIJUターン者数 850人(H27~31)
- 転入転出異動 H31年度均衡

※〈 〉内は例示

#### 移住定住の推進

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やIJUターンの促進に向け広く本町の魅力を発信(ふるさと鳥取県定住機構と連携したIJUターンの積極的推進など)
- 若者夫婦や子育て世代への住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進(若者夫婦・子育て世代住宅支援など)
- 空き家を活用し、移住希望者が求める環境づくりを推進(空き家の整備、空き家情報バンクの充実など)
- 移住希望者が町での暮らしを体験できるお試し住宅の設置や環境づくりを図る(お試し住宅の運営など)
- 大学などと連携した「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」に参画し、地域活性化と移住定住促進の原動力となる人材の育成(鳥取大学等との連携による「地(知)の拠点COC+」事業の推進)

#### まちのにぎわい創出や拠点の形成

- 町民や団体が主体となった魅力的な地域づくり活動の支援(地域のにぎわい・まちづくりの創出支援など)
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進(防災対策特別強化事業)
- いつでも誰でも集える拠点整備のため、集会所などのバリアフリー化を促進(小地域拠点集会所等バリアフリー事業)
- さまざまな生活サービスや地域活動の場をつなぐ「小さな拠点」づくりの推進と、企業などと連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実(小さな拠点づくりなど)
- 地域に伝わる伝統芸能や文化資源を活用した地域振興(町民による文化財・伝統芸能の活動支援など)
- 地方に暮らしながら都市部と同じ仕事ができる環境づくり(ICT推進事業)
- 地域資源を有効活用した「癒やしの地域づくり」の推進(地域おこし協力隊など)
- 温泉熱・風力・太陽光などの自然エネルギーの積極的な利活用(温泉熱の農業・観光分野への2次利用など)
- さまざまな分野における団体の育成を図り、自助・共助の推進と住民参画による行政を推進(愛サポート・地域支え愛運動等の展開など)

